

四季の移ろいを感じ楽しむ

# 七十二候

1年を24等分した二十四節気(立春、春分など)を、それぞれ3つの「候」に区切った節目を七十二候といいますが、移ろう季節を愛でる日本人の豊かな感性を象徴しています。

立秋 初候

## 涼風至

すずかぜいたる

8月7日～8月12日頃

残暑厳しい日々の中にも

一歩ずつ、秋の足音

立秋は文字通り「秋立つ」日。暦の上では夏が終わり秋が始まりますが、照りつける太陽の厳しさに、実際にはまだまだ秋を実感するにはほど遠いでしょう。しかし日中に汗を拭いながら歩いた日も、日が暮れば暑さが和らぎ、頬をなでる風に涼を感じ、草むらから秋の虫が鳴く声が聞こえてくると、ほんの少し秋の気配が感じられるのではないのでしょうか。立秋を境に挨拶状も「暑中見舞い」から「残暑見舞い」へ。あと少しで夏の暑さともしばしお別れだと思えば、少し名残惜しいかも……。秋一番までの移り変わりを五感で楽しみつつ過ごしたいものです。



きざし 夕涼み



植物 露草

料理 鱈の天麩羅



虫 負飛蝗(オンブバッタ)

### 開運ポイント

中国では桃は不老長寿や魔除けの植物とされ、仙人の食べ物といわれています。桃にはデトックス作用があるので、旬の桃を食べて開運しましょう。また桃色は良縁を叶えるラッキーカラーです。

## 神宮館 REPORT

### 「日光山輪王寺」

#### 代理参拝

2022年2月17日(木) 開催

### 世界遺産「日光の社寺」で開運祈願

暦の上での新年に合わせ、日光山輪王寺にて、代理で新春の開運祈願を執り行ってきました。

輪王寺、二荒山神社、東照宮の「二社一寺」の境内地は、1999年に「日光の社寺」としてユネスコの世界遺産に登録されました。これらの地には、国宝や重要文化財の建築物が103棟あります。

輪王寺には三仏堂をはじめ、大猷院(たいゆういん)、仁王門などの歴史ある貴重な建物が数多



▲御祈禱後に関口住職と撮影

くあります。日光山隨一の護摩祈願所・大護摩堂にて皆様の護摩祈願をしました。

護摩祈禱はインドを起源とし、火を灯し、お供え物を燃やすことで仏様に祈りを捧げる修行です。その炎によって煩惱が焼き尽くされ、願いを仏様に届けてくれるといわれています。燃えさかる炎を前に仏様との繋がりを感ずることができました。

今年一年皆様の運が開けることを切に願います。



▲御祈禱が一日3回行われる大護摩堂

### 《 次回告知 》

9月鳥越神社、12月高尾山薬王院で開運ツアー開催の予定です。お楽しみに!

### 応募方法

は郵がき 「お名前」「郵便番号」「住所」「電話番号」「生年月日」「クイズの答え」「ご意見・ご感想」を必ず明記ください。

〒110-0015 東京都台東区東上野1-1-4 株式会社神宮館 「ももとせクイズ」係

ネットー <https://jingukan.co.jp/momotose-present/> 右のQRコードを読み込み、応募フォームにアクセスしてください。



応募締切 2022年9月末日

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### 今回のプレゼント

開運箸置き 3名様

箸置きは写真と異なる場合があります。



※前回の答え 「四代目」

### ももとせクイズ

鵜戸神宮で神の使いとして祀られている動物は?

### 葡萄文様

秋にかけて旬を迎える葡萄。ちぎればかりに熟し色づいた房がいくつも棚にぶら下がっている光景は、この時期の風物詩の一つです。一つの房にたくさんの実をつけるその姿から子孫繁栄や豊作の象徴とされ、吉祥文様として親しまれています。葡萄だけが単体で描かれている場合は秋限定ですが、蔓と合わせて葡萄唐草として描かれている場合は年中使われます。

MOMOTOSE DAYORI

# ももとせ便り

秋号

令和4年壬寅

JINGUKAN

No.56

特集

神話伝承シリーズ⑧

海幸・山幸の物語

宮崎・日南

ももとせ便り

No.56

発行/神宮館

東京都台東区東上野1-1-4

TEL 03-3831-1638 <https://jingukan.co.jp>

発行人/木村通子



海幸・山幸の物語

# 宮崎

# 日南

Miyazaki Nichinan



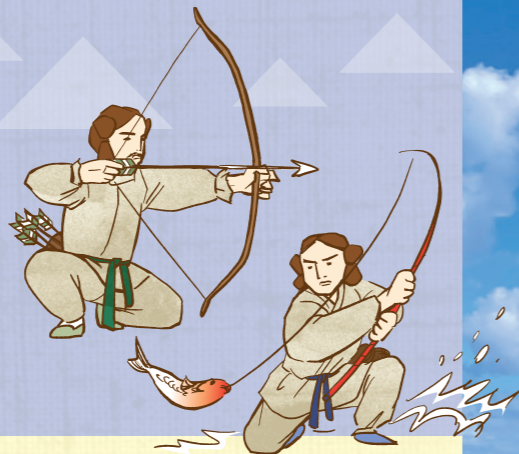
宮崎県の県庁所在地である宮崎市は宮崎県南東部、九州の小京都と称される日南市は宮崎県南部に位置する。どちらも南国情緒あふれる絶景ポイントが点在している。特に日南市と宮崎市を南北でつなぐ国道220号線は「ひむか神話街道」の一部となっており、神話の舞台が多くある。天気の良い日は太平洋に沿って走るだけでも楽しめる絶好のドライブコースだ。



鶏戸神社から望む太平洋

## うみさちひこ やまさちひこ 海幸彦と山幸彦とは

邇邇芸命(ににぎのみこと)の長男・火照命(ほでのみこと)は、海で魚を獲ることに長けていたため海幸彦、末子・火遠理命(ほおりのみこと)は山で獣を獲ることに長けていたため山幸彦と呼ばれていた。ある日、山幸彦の提案でそれぞれの釣りや狩りの道具を交換し狩場で試してみたのだが、どちらもうまくいかない。さらには山幸彦が海で釣り針をなくしてしまう。その後、海の神の助けを経て釣り針を返すことができるのだが、海幸彦の怒りは治まらない。そこで山幸彦は、海の神にいただいた塩満珠(しおみつたま)と塩乾珠(しおふるたま)で、攻めてくる海幸彦を退け、海幸彦は山幸彦に仕えるようになったという。



## 宮崎・日南 おすすめスポット

イースター島の長老会から許可を得て完全復刻した7体のモアイ像で有名な公園。



サンメッセ日南  
(日南市)



初代天皇「神武天皇」を祀る神社。神武さまの愛称で知られている。

宮崎神社  
(宮崎市)



海幸彦を主祭神に祀る全国唯一の神社。この地域では縫い針を他人に貸さないという習慣があるそう。

潮嶽神社  
(日南市)

浦島太郎がたどり着き祀られたという伝説がある。御朱印にも浦島太郎が。



野島神社  
(宮崎市)

## 島全域が境内地「青島」

最初に訪れたのが、宮崎市内から車で30分ほどのところにある青島神社。亜熱帯植物に囲まれた小島、青島の中央に鎮座する神社だ。青島には車が入ることはできないので、島に入る前に点在している駐車場に止めてから徒歩になる。



▲青島につながる弥生橋

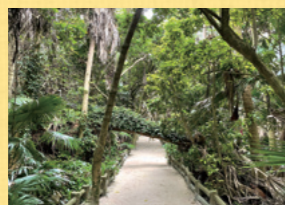
訪れた日はあいにくの天候で、波しぶきを少し浴びながら橋を渡り、鳥居をくぐると宮崎名物のヤシの木とともに朱色の社殿が見えてきた。ヤシの木と神社という組み合わせは南国ならでは。山幸彦と豊玉姫命(とよたまひめのみこと)を祀ることから、縁結びや安産、航海安全にご利益があるといわれる。

境内にはどのような縁を継ぎたいかお願いしながら意思白(石白)を回す「御縁継ぎ」や、願い事を祈念しながら石を持ち上げた時、軽ければ早



▲青島神社

く叶い、重ければ成就が遠いとされる「おもかる石」などの見所もあるが、一番お勧めしたいのは「御成道」だ。境内奥の神門をくぐるとピロウ樹が立ち並び、南の島の密林に迷い込んだかのような錯覚に陥ってしまう。天気が良ければ南国ムードが一層高まるだろう。



▲御成道



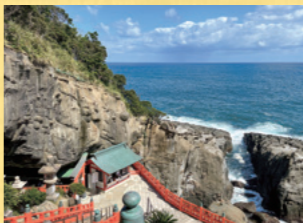
▲御縁継ぎ



▲おもかる石

## 切り立った断崖に建つ 鶏戸神社

続いて訪れたのが日南市にある、豊玉姫命が鷓鴣草葺不合命(うがやふきあえずのみこと)を産んだといわれる



▲岩窟に下りる石段の上から

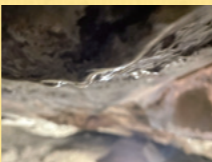
天皇だ。海を見下ろす急な石段を下りた先の岩窟に本殿があるのだが、駐車場から本殿へと続く海岸沿いの道は潮風が気持ち良い。途中うさぎの石像を多く見かけるのだが、鶏戸神社というネーミング(卯)からうさぎが神の使いになったらしく、鳥取県にある白兎神社の「因幡の白うさぎ」のような逸話があるわけではないようだ。



岩窟内にある本殿

が滴り落ちてくる。豊玉姫命が御子の育児のために両乳房をくつつけたと伝えられている「おちちいわ」で、安産や健やかな成長を願う人々の信仰のよりどころとなっている。社務所で滴り落ちる石清水を使って仕上げた神宮特製の「おちちあめ」も授与されており、このあめをなめると母乳がよく出るようになるといわれている。

宮崎県は神々の物語にまつわる地が多い「神話の源流」で、今回紹介したのはほんの1握り。また訪れることを海に誓い、この地を後にした。



▲おちちいわ



▲おちちあめ

### DATA

- 青島神社(あおしまじんじや) 宮崎市青島2-13-1
- 鶏戸神社(うどじんぐう) 日南市宮浦3232

## 今回の旅で 購入したお土産



芋焼酎 「海幸山幸」  
白麹と黒麹の二種類の原酒をブレンドした、まろやかな味わい。



鶏戸名物 「おちちあめ」  
鶏戸神社で授与されるおちちあめとは違うあめだが、昔懐かしい優しい味。